

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年																
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~3日	7月 ~10日	7月 ~17日	7月 ~24日	7月 ~31日	8月 ~7日	8月 ~14日	8月 ~21日	8月 ~28日	9月 ~4日	9月 ~11日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	69	64	99	36	30	21	7	5	7	8	16	16	10 (12)	9
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	62	88	90	4	9	5	7	5	12	10	12	19	14 (15)	13
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	1	1	1	0	4	2	3	0	0	1	1	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	5	5	3	3	2	1	4	6	4	0	3	5	5	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	20	32	22	5	7	4	3	7	7	3	6	3	3	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	19	28	9	3	6	4	1	3	5	3	6	4	6 (7)	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	1	3	1	0	1	1	1	0	0	1	0	2 (4)	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	1	5	1	0	1	1
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*前回のその他の4件は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第36週(9月5日~9月11日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4					2	2	
三類	0	発生なし	0							
四類	1	日本紅斑熱	1			1				
五類	12	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	1						
		後天性免疫不全症候群	2		1		1			
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		百日咳	1	1						
		梅毒	7	1	1			5		
新型インフルエンザ 等感染症	18,551	新型コロナウイルス感染症	18,551	2,141	1,227	1,650	370	8,462	1,614	3,087

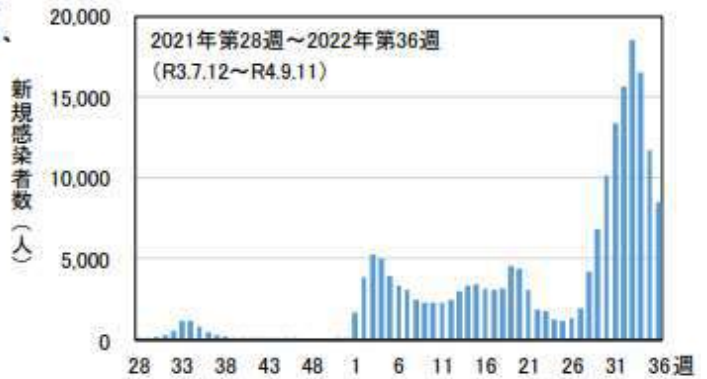
(注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第36週に8,462件の報告がありました。新規感染者数は減少傾向ですが、依然として高い水準です。引き続き、基本的な感染予防対策を徹底することが大切です。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



2 梅毒

今年の累計は229件となり、過去4年の同時期平均の3.9倍と非常に多い状況です。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。また、妊娠している人が梅毒に感染すると胎児に感染し、流産、死産、先天梅毒を起こすことがあるので注意が必要です。

3 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は7件となりました。感染の可能性のある方や不安をお持ちの方は、早期発見・早期治療、パートナーへの感染防止のため、検査を受けましょう。

【参考】HIV/エイズに関する相談と無料・匿名検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/108883.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	増減	
												急増減	増減
小児科	インフルエンザ	-	-	0.18		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.05		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	-	-	0.34		小児科	RSウイルス感染症	39	1.70	2.09		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.17	1.20			急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	47	2.04	3.15	→	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.58		横ばい	ほとんど増減なし
	水痘	1	0.04	0.20		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			
	手足口病	15	0.65	1.25	↓		無菌性髄膜炎	-	-	-			
	伝染性紅斑	-	-	0.08			マイコプラズマ肺炎	-	-	-			
	突発性発しん	2	0.09	0.40			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
ヘルパンギーナ	9	0.39	0.98	↘	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		-	-	0.03				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	77	30歳代、70歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	7	30歳代・感染者
5	梅毒	5	229	20歳代・2人、30歳代・1人、40歳代・2人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	13	70歳代